令和　　年　　月　　日

＊＊＊　お願い　＊＊＊

１．本雛形を利用して提案書本体を作成してください。記述欄については、提案者が十分に説明するために必要なスペースを使用して記述してください。また、説明に必要な参考資料等を添付していただいても構いません。

２．ご提出前に、本雛形の“吹き出し等(説明書き）”及び文字

や数字を表す○、×、□などは、全て消してください。

３．ページ数の制限は設けません。分かり易い記述として

ください。

国立研究開発法人情報通信研究機構

理事長　殿

［研究開発プロジェクト名］オール光ネットワークの高度化に向けたデジタルツイン技術及びそれを活用したネットワーク最適化・分析技術に関する研究開発

変更不可

［提案名］○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

提案の内容を簡潔に示す名称をつけてください。

［代表提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

●国税庁に登録している**法人番号、法人名\*1及び法人の代表者＊2（役職名、氏名）**を記入してください。

＊1：登記された正式な法人名称

＊2：企業であれば代表取締役社長等、大学等であれば、理事長、学長／総長　等、各法人が定める法人を代表する方（個人）

●本雛形は、ＡA社、ＢB社、ＣC大学が共同で提案し、ＡA社が代表提案者となる例を示しています。実際の構成に合わせて修正してください。

●このように共同提案の場合は、**代表提案者が取りまとめて**応募してください。

●代表提案者と全ての共同提案者を記載してください。研究グループを構成する研究機関の変更は、「応募提出期限」から「委託期間終了」まで原則としてできませんのでご注意ください。

詳しくは応募要領をご覧ください。

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名　 AA社

代表者　 □□□　××　××

［共同提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名　 BB社

代表者　 代表取締役社長　××　××

［共同提案者］

法人番号 ○○○○○○○○○○○○○

郵便番号 ○○○-○○○○

所在地 ○○県××市・・・・・・・

法人名 学校法人CC大学

代表者　 理事長　××　××

提案書（本体）　目次

[１　概要](#_Toc176956297)

[１－１　研究開発プロジェクト](#_Toc176956298)

[１－２　要旨](#_Toc176956299)

[１－３　研究開発の概要、目的、背景、必要性、提案の優位性等](#_Toc176956300)

[１－４　研究開発期間](#_Toc176956301)

[２　最終目標（アウトプット目標）及び研究開発実施計画](#_Toc176956302)

[２－１　最終目標（アウトプット目標）](#_Toc176956303)

[（１）研究開発プロジェクト全体の目標](#_Toc176956304)

[（２）最終目標の設定理由](#_Toc176956305)

[（３）各研究開発項目別の最終目標](#_Toc176956306)

[（４）成果発表目標](#_Toc176956307)

[２－２　ドイツ側との国際共同研究による最終目標（アウトプット目標）](#_Toc176956308)

[（１）研究開発プロジェクト全体の目標](#_Toc176956309)

[２－３　最終目標への計画](#_Toc176956310)

[提案書別紙　１－２に記載](#_Toc176956311)

[２－４　年度目標（アウトプット目標）](#_Toc176956312)

[提案書別紙　１－４に記載](#_Toc176956313)

[２－５　研究開発実施計画マイルストーン](#_Toc176956314)

[**３　研究開発体制及び分担**](#_Toc176956315)

[３－１　研究開発体制](#_Toc176956316)

[（１）代表研究責任者](#_Toc176956317)

[（２）研究開発体制](#_Toc176956318)

[（３）想定するドイツ側の研究機関等について](#_Toc176956319)

[（４）（３）とのMOUについて](#_Toc176956320)

[３－２　研究開発項目別分担](#_Toc176956321)

[３－３　代表提案者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発プロジェクト全体の運営管理](#_Toc176956322)

[提案書別紙　２－２に記載](#_Toc176956323)

[３－４　人を対象とする生命科学・医学系研究の取扱い](#_Toc176956324)

[３－５　動物実験の取扱い](#_Toc176956325)

[４　成果の展開・普及](#_Toc176956326)

[４－１　研究の成果展開](#_Toc176956327)

[（１）成果の展開・普及（社会実装）の戦略](#_Toc176956328)

[（２）知的財産活動の計画](#_Toc176956329)

[（３）標準化活動の計画](#_Toc176956330)

[４－２　成果の発展性・普及性](#_Toc176956331)

[提案書別紙　７－２に記載](#_Toc176956332)

[４－３　展開・普及計画（マイルストーン）](#_Toc176956333)

[提案書別紙　７－３に記載](#_Toc176956334)

[５　当該技術又は関連技術の研究開発実績、保有設備・知的財産等の提案遂行・目標達成能力](#_Toc176956335)

[５－１　研究開発の実績](#_Toc176956336)

[５－２　これまでの成果](#_Toc176956337)

[５－３　提案の実施に資する保有設備・装置等、保有知的財産、提案者の所属組織からのサポート等](#_Toc176956338)

[５－４　当該提案を遂行し、目標を達成する能力](#_Toc176956339)

[６　日本側研究機関の研究員及び連絡先](#_Toc176956340)

[６－１　研究員氏名](#_Toc176956341)

[６－２　代表研究責任者、実施責任者及び連絡担当者　連絡先](#_Toc176956342)

**提案書別紙**

１　研究開発目標

１－２　最終目標への計画

１－４　年度目標（アウトプット目標）

２　研究開発計画

２－２　代表研究者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発プロジェクト全体の運営管理

３　データ等の取り扱いに関する計画

３－１　パーソナルデータ（個人情報を含む）が含まれるデータの扱いについて

３－２　データ等の利用及び保管

３－３　データ公開計画

３－４　情報セキュリティ管理の実施体制

４　機構の研究施設、研究設備及び研究機器の利用

６　アウトカム目標

６－１　研究開発プロジェクト全体のアウトカム目標

６－２　アウトカム目標の設定理由・根拠

７　成果の展開・普及

７－２　成果の発展性・普及性

７－３　展開・普及計画（マイルストーン）

１　概要

変更不可

１－１　研究開発プロジェクト

（1）研究開発プロジェクト名

オール光ネットワークの高度化に向けたデジタルツイン技術及びそれを活用したネットワーク最適化・分析技術に関する研究開発

（2）提案名

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

１－２　要旨

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

●研究開発の概要を**100文字以上300文字以内**で記載してください。特に、アピールしたい技術、手法、期待される成果等を記載してください。成果の展開・普及により、社会経済分野、科学技術分野等へどのような貢献をもたらすかについても含むようにしてください。

●採択された場合、公表文書に使用することがあります。対外的に公表して問題ない内容としてください。

１－３　研究開発の概要、目的、背景、必要性、提案の優位性等

【参考：TRL】：×

（下記１～３のいずれかに該当するかを記入）

TRL1: 基本原理の観察及び提唱（例：技術の基本特性についての文献研究等）

TRL2: 技術の概念や実用化についての明確化（例：提唱した技術の実用化に関する検討など分析研究等）

TRL3: 分析及び実験による、重要な機能や特性についての概念実証(PoC)（例：実験的手法や分析研究などによる要素技術ごとの予測評価等）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

1-3は、以下留意の上記載してください。

●提案技術に係る研究開発の目的、社会的現状や産業・社会ニーズ等の背景、目的を達成するために解決すべき課題、課題に対する対応策（＝研究内容）、必要性（国費で実施する必要性及びすぐに着手すべき緊急性を含む）、解決方法、社会経済への波及効果等の概要を簡潔に記述してください。また、提案内容が、国際共同研究で今回実施する研究開発プロジェクトの内容に合致していることが明確となるよう記述してください。

●B5Gが具備すべき機能を実現する上での要素技術確立や技術シーズ創出の観点からの貢献について具体的に記述してください。

●提案内容に関係する技術の国際競争状況、動向を説明した上で、提案者の技術の位置づけや優位性を客観的に記述してください。

●上記の研究開発の背景、必要性等を客観的に説明できる根拠について記述し、その根拠となる資料も添付してください。

●【参考：TRL】に関しては、研究開発対象がTRL１～３のいずれに該当するかを記入してください。（TRLについては、「革新的情報通信技術（Beyond 5G（6G））基金事業　基金運用方針」（令和6年７月４日改定・公表　総務省<https://www.soumu.go.jp/main_content/000957055.pdf> を参照してください。）

１－４　研究開発期間

以下のいずれか該当するものを■にしてください。

□①契約締結日から2025年度まで

□②契約締結日から2026年度まで

□③契約締結日から2027年度まで

２　最終目標（アウトプット目標）及び研究開発実施計画

２－１　最終目標（アウトプット目標）

（１）研究開発プロジェクト全体の目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

2-1（１）は、以下に留意の上記載してください。

●日本側のみのアウトプットを記載してください。

●終了評価において客観的に評価できるマイルストーンとなる具体的な目標を定量的に記載し、どのような技術を確立するのか等も具体的に記載してください。

（２）最終目標の設定理由

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

２-1（２）は以下留意の上記載してください。

●本目標が国内外の既存技術の性能や競争相手が開発中の技術性能と比較して優れていることを定量的あるいは定性的に説明すること等により上記目標を設定した理由を記載してください。

（３）各研究開発項目別の最終目標

●各研究開発項目別のアウトプット目標を記載してください。

研究開発項目1　デジタルツインデータ処理技術の研究開発

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目1-a）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目1-b）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目1-c）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

研究開発項目２　オール光ネットワークデジタルツイン構築技術の研究開発

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目2-a）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目2-b）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目2-c）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目2-d）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

研究開発項目３　オール光ネットワークの最適化・分析技術の研究開発

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目３-a）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目３-b）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目３-c）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

・研究開発項目３-d）○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（４）成果発表目標

最終目標は、研究開発期間完了までの累積目標値を記入してください。

・研究の進捗状況を踏まえて、目標数を記入してください。

・外国出願にはPCT出願も含めてください。

・0件の場合は空欄とせず、必ず「0」を記入してください。

・背景色が灰色の欄は記入不要です。

発表区分は、巻末資料（発表区分基準）を参照してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 出願/発表区分 | 最終目標 |
| 国内出願 |  |
| 外国出願 |  |
| A.研究論文 |  |
| B.小論文 |  |
| C1.査読付収録論文 |  |
| C2.収録論文 |  |
| D.機関誌論文 |  |
| E.著書等 |  |
| F.学術解説等 |  |
| G.一般口頭発表 |  |
| H.その他の資料 |  |
| I.標準化提案 |  |
| J.標準化採択 |  |
| K.プレスリリース |  |
| L.報道 | ― |
| M.展示会 |  |
| N.受賞 | ― |
| O.表彰 | ― |
| P.成果の実施 | ― |
| Q.その他 |  |

２－２　ドイツ側との国際共同研究による最終目標（アウトプット目標）

（１）研究開発プロジェクト全体の目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

●ドイツ側との国際共同研究により生じるものであって、日本側のみのアウトプット（２－１に記載）に加えて期待されるアウトプット目標を記載してください。

２－３　最終目標への計画

提案書別紙　１－２に記載

２－４　年度目標（アウトプット目標）

提案書別紙　１－４に記載

２－５　研究開発実施計画マイルストーン

研究開発期間に合わせて表を修正してください。

最終年度

各年度の経費

初年度

 経費[百万円]

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 研究項目 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 経費合計 | 担当 |
| 研究開発項目１　□□□□□□□□・○○○○○○○○・○○○○○○○○・○○○○○○○○ |  試作　3.5評価　1.5試験　　２仕様化　1× | 試験　1.5仕様化　1× | 連携実験　1.5仕様化　1× | ××× | AA社AA社BB社 |
| 研究開発項目２　□□□□□□□□・○○○○○○○○・○○○○○○○○・○○○○○○○○・○○○○○○○○ | ×××× | ×××× | ×××× | ×××× | AA社BB社CC大学AA社 |
| 総額 | ○○ | ○○ | ○○ | ○○ |  |

注）１. 各フェーズの開始時期と終了時期を明確にしてください。

2. 研究開発項目に対して、それぞれの研究計画のフェーズが明確にわかるように、詳細に記載してください。（数年間に渡って矢印を引き「基本設計・詳細設計・評価」とするような、区切りが漠然とした記載は避けてください。）

３ 経費については、研究開発項目毎に各年度に要する経費を間接経費及び消費税を含む金額として記載してください。

４. 研究開発期間は、契約締結日から①2025年度まで、②2026年度まで、③2027年度までのいずれかを選択してください。

**３　研究開発体制及び分担**

３－１　研究開発体制

（１）代表研究責任者

所属・役職：XXXXXX

氏名：XXXXX

（２）研究開発体制

|  |  |
| --- | --- |
| 日独国際共同研究プロジェクトにおける日本側の役割 | ××××× |

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名等 | 研究開発項目/役割 |
| 代表提案者(AA社) | 研究開発項目1-a）○○○○○○○○○研究開発項目1-c）○○○○○○○○○研究開発項目2-a）○○○○○○○○○役割：××××××××××××××××× |
| 共同提案者(BB社) | 研究開発項目1-b）○○○○○○○○○研究開発項目2-b）○○○○○○○○○役割：××××××××××××××××× |
| 共同提案者(CC大学) | 研究開発項目2-c）○○○○○○○○○役割：××××××××××××××××× |
| 連携研究者(DD大学) | 役割：××××××××××××××××× |
| 研究実施協力者(EE社) | 役割：××××××××××××××××× |

※代表提案者、共同提案者は機構と委託契約を締結しますが、連携研究者、研究実施協力者は機構との委託契約は締結しません。詳しくは事務マニュアルをご参照ください。

３-1（2）は、以下留意の上記載してください。

●**日本側の研究開発体制を記入してください。３-1（３）の記載と重複しないようにしてください。**

●代表提案者、共同提案者について法人名等を記入してください。

●各提案者が担当する研究開発項目が分かる階層まで記入してください。

●連携研究者、研究実施協力者について、参画者が決まっている場合は具体的に名称等（個人の場合は氏名及び所属等）を記入してください。

●それぞれ、研究グループ全体に対する役割を明確に記入してください。

●必要に応じて表を追加又は不要な欄を削除してください。

●１者で研究を実施する場合は、その旨を記入してください。

●B5Gにおける将来の標準化などへのシナリオを想定し、学会、研究者など外部の協力を求めていく計画がある場合には、その計画を記載してください。

（３）想定するドイツ側の研究機関等について

|  |  |
| --- | --- |
| 日独国際共同研究プロジェクトにおけるドイツ側の役割 | ××××× |

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名等 | 役割 |
| 代表提案者(○○会社) | 役割：××××××××××××××××× |
| 共同提案者(○○大学) | 役割：××××××××××××××××× |
| 共同提案者(会社○○) | 役割：××××××××××××××××× |

３-1（３）は、以下留意の上記載してください。

●**ドイツ側の研究開発体制を記入してください。**

●代表提案者、共同提案者について法人名等を記入してください。

●それぞれ、研究グループ全体に対する役割を明確に記入してください。

●必要に応じて表を追加又は不要な欄を削除してください。

共同研究機関が今回の研究開発プロジェクトの研究内容について、BMBFの研究助成に「申請している」又は「申請する予定である」旨のいずれかを選択するとともに、それを証明する資料を提出してください。

※ドイツ側の申請状況

上記の研究機関はBMBFの研究助成に

□　申請している

□　申請する予定である

（４）（３）とのMOUについて

提出書類の通り、○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●上記（３）に係るドイツ側共同研究機関との共同研究・連携契約（MOU）等の文書（締結前の場合は案文）を提出してください。（役割分担や共同研究や連携における研究成果に関する知的財産の扱い等の確認に用います。）日独が共同で取得する知財については、日本側の貢献比率に応じた知財配分を前提とした研究開発計画が分かる文書を提出してください。

３－２　研究開発項目別分担

研究開発項目1　デジタルツインデータ処理技術の研究開発

研究開発項目1-a）○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目1-b）○○○○○○○○○ （BB 社）

研究開発項目1-c） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目２　オール光ネットワークデジタルツイン構築技術の研究開発

研究開発項目２-a） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目２-b） ○○○○○○○○○ （BB 社）

研究開発項目２-c） ○○○○○○○○○ （CC 大学）

研究開発項目２-d） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目３　オール光ネットワークの最適化・分析技術の研究開発

研究開発項目３-a） ○○○○○○○○○ （AA 社）

研究開発項目３-b） ○○○○○○○○○ （BB 社）

研究開発項目３-c） ○○○○○○○○○ （CC 大学）

研究開発項目３-d） ○○○○○○○○○ （AA 社）

●必要に応じて項目を追加してください。

３－３　代表提案者（代表研究責任者が所属する法人）による研究開発プロジェクト全体の運営管理

提案書別紙　２－２に記載

３－４　人を対象とする生命科学・医学系研究の取扱い

括弧内に○を入れ、該当する提案者名を記載してください。

（　）人を対象とする生命科学・医学系研究を実施する（AA社）

（　）人を対象とする研究を実施するが、人を対象とする生命科学・医学系研究は実施しない（BB社）

（　）人を対象とする研究は実施しない（CC大学）

●人を対象とする研究を含む提案の場合には、「人を対象とする研究のチェックリスト」の提出が必要です。

●人を対象とする研究の例：

人由来の試料（血液、体液、組織、排泄物及び抽出されたDNA等及び個人に関する情報を含む）を用いた研究、研究対象者に何らかの課題を行わせ、その時の行動（反応時間、身体運動、発話等）、生理指標（心拍数、筋電、発汗、呼吸数、体温等）、脳活動（ｆMRI、MEG、EEGデータ）、人体断層画像（MRI、CTデータ）等を計測・評価する研究、アンケート調査研究等

●人を対象とする生命科学・医学系研究とは「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第一号）の対象となる研究です。

上記指針より抜粋：

人を対象として、次のア又はイを目的として実施される活動をいう。

ア　次の① 、② 、③ 又は④ を通じて、国民の健康の保持増進又は患者の傷病からの回復若しくは生活の質の向上に資する知識を得ること。

① 傷病の成因（健康に関する様々な事象の頻度及び分布並びにそれらに影響を与える要因を含む。）の理解

② 病態の理解

③ 傷病の予防方法の改善又は有効性の検証

④ 医療における診断方法及び治療方法の改善又は有効性の検証

イ　人由来の試料・情報を用いて、ヒトゲノム及び遺伝子の構造又は機能並びに遺伝子の変異又は発現に関する知識を得ること。

●人を対象とする生命科学・医学系研究であって、法令の規定により実施される研究（がん登録推進法に基づくがんデータベース登録等）および法令の定める基準の適用範囲に含まれる研究（臨床研究法における臨床研究（特定臨床研究以外も含む）や治験等）は審査の対象としません。詳細は応募要領をご確認ください。

３－５　動物実験の取扱い

括弧内に○を入れ、該当する提案者名を記載してください。

●提案内容に動物実験が含まれる場合には、「動物実験に関するチェックリスト」の提出が必要です。詳細は応募要領をご確認ください。

（　）動物実験等を実施する（CC大学）

（　）動物実験等は実施しない（AA社、BB社）

４　成果の展開・普及

４－１　研究の成果展開

（１）成果の展開・普及（社会実装）の戦略

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（1）は、以下留意の上記載してください。

●社会実装による国民生活や経済社会への波及効果等の観点から、委託期間中及び終了後に、本研究成果をどのような方策で活用するかについて、以下の記述ポイントを参考に分かり易く、具体的に記述してください。

・外部発表など研究開発成果の情報発信をどのように行う計画か。

・製品化等、成果の産業応用、国際競争力の維持・向上についてどのような見通し（実用化へ向けての課題の検討、事業化への具体的な道筋等）を立て計画していくか。

●特に国際共同研究により、どのような価値創出が期待できるのか具体的に記述してください。

（２）知的財産活動の計画

４-１（2）は、以下留意の上記載してください。

●特許出願件数、知的財産権の活用計画の他、Beyond 5Gの実用化や事業化を見据えてどの分野の知財を取得する計画なのかを具体的に記載してください。

●ドイツ側共同研究機関との間で共有知財が発生する場合、知財配分を適正にするための計画を記載ください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（３）標準化活動の計画

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

４-１（3）は、以下留意の上記載してください。

●B5Gの実現に向けてどのような分野のどのような標準の策定が期待できるか、標準化に向けてどのような対応をとる計画か、実用化や事業化を見据えた知財戦略と標準化戦略をどのように一体的に推進する計画か、何件程度の標準必須特許（mandatory/ optionalのSEP）を目指して、それぞれどこの場でどのように標準化を目指す計画か、optionalよりもmandatory（事実上mandatoryを含む）となるような標準必須特許（SEP）を獲得するためにどう対応するのか、将来ビジョンからのバックキャストを踏まえた標準化活動に関してどのような対応が取れるのか等について具体的に記載してください。記載に当たっては、ドイツ側との連携方策にも言及してください。

４－２　成果の発展性・普及性

提案書別紙　７－２に記載

４－３　展開・普及計画（マイルストーン）

提案書別紙　７－３に記載

５　当該技術又は関連技術の研究開発実績、保有設備・知的財産等の提案遂行・目標達成能力

５－１　研究開発の実績

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●当該研究開発プロジェクトに対して提案者が受託するに相応しい理由を説明してください。国内外における研究開発の現状を示すとともに、その中での提案者の位置づけや研究開発状況についても記載してください。

●提案が採択となった後も自らが実施する類似研究を継続する場合には、その研究概要、目標等を示して、本委託研究と明確に区別できることを説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

５－２　これまでの成果

●提案者が当該研究開発プロジェクトの遂行に資する関連・類似の研究開発を既に行っている場合、或いは過去に行ったことがある場合には、その研究や外部発表等（研究論文、学会発表、標準化提案、特許、表彰等）について、具体的かつ簡潔に記載してください。

●参考となる資料をあわせて添付してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

５－３　提案の実施に資する保有設備・装置等、保有知的財産、提案者の所属組織からのサポート等

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる設備・装置等、知的財産や技術シーズで提案者が保有しており活用できるもの、提案者の所属組織から受けられるサポートがあれば、具体的に記載してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

５－４　当該提案を遂行し、目標を達成する能力

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

●５-1から５-3までを踏まえ、全ての提案者が提案内容を着実に遂行し、アウトプット目標・アウトカム目標を達成できる能力を有していることを具体的に説明してください。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

６　日本側研究機関の研究員及び連絡先

* 研究員は、研究の本質的な部分を行う者です。各者においては複数の研究員について記載してください。なお、補助員は、研究員の指示に従い、委託業務（研究開発）の補助的作業を行う者であって、研究の本質的な部分を行う者ではないため、ここには氏名等を記入しないでください。
* それぞれの研究員の本研究開発提案における役割分担を明確に記載してください。
* エフォート率については、委託期間開始年度における研究員の年間の全仕事時間（研究活動のみを指すのではなく、教育活動や会社業務等を含めた実質的な全仕事時間）を100%とし、そのうち本委託研究の実施に真に必要とする時間の配分割合（%）を記入してください。
なお、事実と異なる記載をした場合は、委託研究課題の不採択、採択取消し又は減額配分とすることがありますので、ご注意願います。

６－１　研究員氏名

（１）AA社（代表提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究開発実績（略歴） | 本研究開発プロジェクトにおける役割分担及びエフォート率 |
| 【代表研究責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

（２）BB社（共同提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究開発実績（略歴） | 本研究開発プロジェクトにおける役割分担及びエフォート率 |
| 【実施責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

（３）CC大学（共同提案者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏 名 | 所属・役職（職名） | 研究開発実績（略歴） | 本研究開発プロジェクトにおける役割分担及びエフォート率 |
| 【実施責任者】××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |
| ××　×× | ×××××××× | ×××××××××××××××××××××××××××××××× | ××××××××××××% |

必要数、記入枠を追加してください。

(注１)非居住者を研究員とする場合には外為法に基づく手続きを行う必要があることをご留意ください。経済産業省などのウェブサイトで、安全保障貿易管理の詳細が公表されていますので詳しくはそちらをご参照ください。

(経済産業省：安全保障貿易管理（全般）<https://www.meti.go.jp/policy/anpo/>)

(注2)エフォート率は、、委託期間開始年度における研究員の年間の全仕事時間（研究活動のみを指すのではなく、教育活動や会社業務等を含めた実質的な全仕事時間）を100%とし、そのうち本委託研究の実施に真に必要とする時間の配分割合（%）を記入してください。
なお、事実と異なる記載をした場合は、委託研究課題の不採択、採択取消し又は減額配分とすることがありますので、ご注意願います。

６－２　代表研究責任者、実施責任者及び連絡担当者　連絡先

●“e-Rad登録機関コード”をお持ちの場合は記入してください。

（共同提案者についても同様です）

（１）AA社（代表提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

●法人名を上書きしてください。

（１）、（２）…は消去しないでください。

【代表研究責任者】

所属 ○○部××課

●機関の組織概要を掲載したWebサイトのURLを記入してください。

（共同提案者についても同様です）

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

●確実に連絡を取るために、連絡担当者は、代表研究責任者、実施責任者と同一人物にしないようにしてください。

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

●経理責任者は、委託研究の経理全般を管理する責任者としてください。

●本委託研究を実施する研究者が経理責任者、経理担当、または契約担当を兼ねることはできません。

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

●評価及び審査の過程で、代表研究責任者、実施責任者、担当者に機構から質問等を行うことがあります。短期間での回答をお願いすることとなりますので、それに対応できる方を窓口担当者としてください。また、連絡の便を考慮し、可能であれば携帯電話番号を併記してください。また、各者の契約担当、経理担当も記載してください。

●共同提案の場合は原則として代表提案者に連絡しますが、全ての共同提案者についても記載してください。

●“e-Rad登録機関コード”をお持ちの場合は記入してください。

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【契約担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

（２）BB社（共同提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【契約担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

（３）CC大学（共同提案者）　e-Rad研究機関コード：

URL：

【実施責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【連絡担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

【経理責任者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mai XXXXX@XXXXX

【契約担当者】

所属 ○○部××課

役職名 ○○○○

氏　名 ○○　○○

住　所 〒xxx-xxxx　○○都／道／府／県○○市○○

ＴＥＬ ×××××××-××××　内線○○○○

ＴＥＬ（携帯） ××××××××-××××

Ｅ-mail XXXXX@XXXXX

必要数、記入欄を追加してください。

|  |  |
| --- | --- |
| **発表区分基準** | 　 |
|  | 　 | 　 |
| **＜１．論文等発表＞** | 　 |
| 　 | A.研究論文 | 学会等の学術団体が発行もしくは編集し定期的に刊行される**正式な査読過程のある学術雑誌**に、正式な査読を受けて掲載されたオリジナル論文。【例：Nature、Optics Express、Journal of Applied Physics、IEEE Transactions、信学会論文誌、など】（注：「B.小論文」に該当するものを除きます。　「正式な査読過程」とは「ピア・レビュー」を指します。）（注：翻訳出版された論文は「H.その他資料」に分類してください。） |
| 　 | B.小論文 | 学会等の学術団体が発行もしくは編集し定期的に刊行される**正式な査読過程のある学術雑誌**に掲載されたオリジナル論文で、小論文、研究速報、寄書、レター、ショートノート、等。 |
| 　 | C1.査読付収録論文※ | 学会の定期講演会、研究集会、シンポジウム等で口頭発表された後、プロシーディングとして刊行されたFull Paperに準ずる論文や予稿、論文形式のもので、**査読過程が有る**もの。【例：ECOC　など】 **（注：基調講演、招待講演、依頼講演については、その旨を採録情報欄へ記入し、外部発表一覧表提出時に発表プログラムも合わせて提出してください。）** |
| 　 | C2.収録論文※ | 学会の定期講演会、研究集会、シンポジウム等で口頭発表された後、プロシーディングとして刊行されたFull Paperに準ずる論文や予稿、論文形式のもので、**査読過程が無い**もの。【例：信学会研究会　など】基調講演、招待講演などで、査読過程が無く、プロシーディングとして刊行されるもの。 **（注：基調講演、招待講演、依頼講演については、その旨を採録情報欄へ記入し、外部発表一覧表提出時に発表プログラムも合わせて提出してください。）** |
| 　 | D.機関誌論文 | 公の研究機関、企業等あるいは大学等の編集発行する論文誌、紀要などで「A.研究論文」に準ずる論文。 |
| 　 | E.著書等 | 著作本全般、分担で執筆した場合、概ね１章以上を分担しているもの。（注：他は「H.その他資料」に分類してください。） |
| 　 | F.学術解説等 | 研究論文に準ずる内容であるが、必ずしもオリジナリティを要求されない、あるいは正式な査読過程のない論文もしくは解説記事。（注：ショートノートに準ずるものは「H．その他資料」に分類してください。） |
| 　 | G.一般口頭発表 | 学会の定期講演会、研究集会、シンポジウム、セミナー、講演会の口頭発表で、「C1 査読付収録論文」、「C2収録論文」ではないもの。【例：信学会総合大会、信学会ソサイエティ大会、物理学会年次大会】**（注：基調講演、招待講演、依頼講演については、その旨を採録情報欄へ記入し、外部発表一覧表提出時に発表プログラムも合わせて提出してください。）** |
| 　 | H.その他の資料 | 一般商業雑誌、広報誌等に寄稿された解説、報告、紹介等を目的とした記事、プレプリント、他発表分類に該当しない外部発表資料。 |
| 　 | ※収録論文の共通事項◆要約等のみの場合は「G.一般口頭発表」としてください。◆収録論文は、開催者（学会等）の取り扱いにより、以下の通り外部発表の成果内容が異なりますのでご注意ください。　①**開催者（学会等）が、口頭発表に対応する収録論文として扱っている場合**　　発表件数は「１」。　　　ただし、　　　　　・収録論文が公表（出版）されない場合には「口頭発表」を成果とする。発表年月日は、口頭発表の日。　　　　　・収録論文が公表（出版）される場合には「収録論文」を成果とする。発表年月日は、口頭発表、収録論文の何れか最も早い発表日（エビデンスにより確認）。　　　**●C1,C2（収録論文）と、G（一般口頭発表）を重複して成果記載しないよう、注意してください。**　②**開催者（学会等）が、口頭発表に対応する収録論文として扱っていない場合**　　発表件数は口頭発表と論文の計「２」。口頭発表と論文がそれぞれ別の成果になります。発表年月日は、口頭発表の発表日と論文発表日は別々で、それぞれの発表年月日は対象発表が初めて発表された日（エビデンスにより確認）。　　例）口頭発表の中で優秀な発表について、開催者より勧められて別途論文を発表した場合 |
| 　 | 　 | 　 |
| **＜２．標準化提案・採択＞** | 　 |
| 　 | I.標準化提案 | 標準化を目的にした寄書、提案。ITU、ISOなどの公的国際標準化機関への直接的標準化提案だけではなく、標準化を目指したフォーラムなどの団体・グループへの提案や、WG設立への提案、ARIBやTTC等の国内標準への提案を含みます。（注：**国際、国内の区別**、基本方針、新規定の提案、記述の修正などの区分について記入してください。） |
| 　 | J.標準化採択 | 当該委託研究に関する標準化提案が採択された場合。 |
| 　 | 　 | 　 |
| **＜３．成果発信＞** | 　 |
| 　 | K.プレスリリース | 広報等を通じ公式に、報道機関等に向け「プレスリリース」を配布、または公表した場合。 |
| 　 | L.報道 | 当該研究がメディアで取り上げられた場合。 |
| 　 | M.展示会 | 外部向けに行われた展示会へ出展した場合。 |
| 　 | **注1：プレスリリースや展示会、また取材を受ける場合には、検討段階で、電話・メール等にて事前にNICT担当者に連絡してください。注2：L.報道はWeb掲載含め各報道をそれぞれ成果とする。** |
| 　 |  | 　 |
| **＜４．表彰・受賞・成果の実施・その他＞** |
| 　 | N.受賞 | 学会等で論文賞を受賞された場合。 |
| 　 | O.表彰 | 表彰を受けた場合。 |
| 　 | P.成果の実施 | 実用化、商品化、事業化、サービス化、オープンソースなど成果の活用を行った場合。 |
| 　 | Q.その他 | 他に区分されない成果。 |
|  | 　 | 　 |
|  | **NICTの基準による分類の原則を示したものです。不明点があればNICTへ相談してください。** |